

令和元年 7 月 斐伊川水系水質情報

令和元年7月(宍道湖:4日・中海:8日採水)					単位:mg/l(Chl-a: μg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.1	△	平年並み	3.6	△	平年並み	4.2	△	平年並み
全窒素	上層	0.43	△	平年並み	0.38	○	良好(平年並み)	0.48	△	平年並み
全リン	上層	0.043	△	平年並み	0.031	△	平年並み	0.066	△	平年並み
Chl-a	上層	16	△	平年並み	6.7	△	平年並み	10	△	平年並み
塩化物イオン	上層	4,490	☆	かなり高い	12,200	×	やや高い	12,600	×	やや高い
	下層	4,560	×	やや高い	15,800	△	平年並み	13,700	×	やや高い
溶存酸素	上層	8.7		やや低い	8.0		やや低い	8.3		やや低い
	下層	8.1		平年並み	5.5		平年並み	7.2		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	6.1	下降	3.9	横ばい	4.9	やや下降
全窒素	上層	0.43	横ばい	0.31	やや上昇	0.39	横ばい
全リン	上層	0.045	横ばい	0.036	横ばい	0.044	やや上昇

宍道湖の透明度は先月同様1.4mと横ばい。中海の透明度は2.0mから2.7mと上昇。
米子湾の透明度は1.7mから1.8mと横ばい。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	↑	×	<やや高い>
10年間平均値	↑	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	↓		ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%